



2月の花スイセン

令和7年2月号

交野おりひめ大学通信

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！



節分

水仙の清楚でさわやかな香りが、どこから漂う今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は、年末から年始の、学科の活動をお届けします。

そば学科くそば打ち道場「年越しそば打ち会」

そば学科では、交野産そばの生産と、そば打ち技術向上のために、毎月そば打ち道場を開催しています。

今回は、そば打ち道場の山中剛リーダーに、お話しをいただきました。

6年前、私がそば学科に入ったきっかけは、「もうすぐ退職なのに、趣味の一つでもないとボケるよ。」この妻からの声かけでした。

もともと、そばを打つことに興味があり、より美味しく蕎麦をいただきたいの思いから、そば打ちにはまり、今に至っています。

そのような思いを持った仲間たちが集い、毎月1回、最終日曜日にはそばを打つようになりました。

私が、初めて打ったそばは、もそもそでしたが、回数を重ねるごとに、美味しいそばが打てるのが嬉しくなり、先月、蕎麦打ち道二段位を取得することができました。

ひよっこだった私も諸先輩方に支えられながら、一年前からそば打ち道場リーダーとして、毎月のそば打ちの運営を担っています。

昨年暮れの12月28日には、そば学科の有志16名が「くりの木」に集まり、年越しそば打ち会を行いました。

朝8時から準備を始め、二台のそば打ち台を使い、夕

方4時前までかかりましたが、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

- そば学科
- おさけ学科
- デザイン学科
- クラフトビル部
- 交野伝説学科
- カフェ部
- 酒づくりの会
- かたのキャンパス
- KATANOホイスコーレ準備室
- 目指せ。交野でティラノサウルスレース学科(4月開講)



熱心に年越しそばを打つ学科生たち



もちろん打ったそばは、年越しに家族や友人に振る舞い、好評を博しました。

舌鼓を打ちながら、おいしそうに食べる姿を見ると、とても満足感に満たされます。

まもなく、年度替わりの時期を迎えます。そば打ちやそばを育てて食べることに興味が少しでもありましたら、そば打ち道場の門を叩いてみてはいかがでしょうか。

酒づくりの会

「しめ縄作り〜とんど」

しめ縄作り2024

今年も、恒例のしめ縄(正月飾り)作りWSが、12月14日、交野市青年の家学びの館で行われました。

藁細工職人の柘田良治(りようじ)さんの指導のもと、14名が参加し、しめ縄づくりに取り組みました。

材料の稲わらは、もちろん酒米のもの。うるち米より長いので、加工しやすいそうです。まずは、わらを打って縄作りから。両手をすり合わせながら器用に縄を織り、丸く結んで飾りつけました。

参加者達は、悪戦苦闘しながらも、しめ縄作りを楽しんでいました。



自作のしめ縄をもって、はいポーズ！

とんど焼き

快晴の1月12日、向井田の酒米田で、とんどを行いました。切り出した竹を櫓に組み、神飾りや酒米のわらを飾り付けます。正月飾りやお札などを、組んだ櫓に安置し、年女の女子中生親子が点火！竹は、みるみる炎に包まれ、勢いよく燃え上がったあと、今年の恵方の西南西に倒され、皆で神様に感謝しました。ここで焼いたお餅などを食べることで無病息災や学力向上のご利益があるとか！早速、燃え跡にサツマ芋やお餅を投入、とんどの火で焼いたお芋は格別の味でした。



勢いよく燃え上がるとんど

2025年度学科生募集中！



交野おりひめ大学